

2017 度 小委員会活動成果報告

(2017 年 月 日作成)

小委員会名	事前復興・災害対策小委員会	主 査 名：市古太郎 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：鵜 心治 主 査 名：鵜 心治
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・福島を含む東日本大震災を中心とした災害復興計画の検証と事前復興の方法論の検討と提案 ・2017 年度 福島を含む東日本大震災を中心とした災害復興計画の検証 ・2018 年度 復興準備策に関する検討 ・2019 年度 事前復興対策に関する調査・検討 ・2020 年度 東日本大震災 10 年に向けた復興計画・事業の検証 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 市古太郎 (首都大学東京), 竹谷修一 (国総研), 岡田成幸 (北海道大学), 池田浩敬 (常葉大学), 加藤孝明 (東京大学), 牧紀男 (京都大学), 藤本典嗣 (東洋大学), 伊藤香織 (東京理科大学), 川崎興太 (福島大学), 安藤尚一 (公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター), 越山健治 (関西大学), 澤田雅浩 (長岡造形大学), 紅谷昇平 (神戸大学), 樋本圭祐 (建築研究所), 渡辺公次郎 (徳島大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	環境都市 WG 福島の復興・除染事業に関する研究活動を展開	
2017 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 福島復興の環境都市計画の視点からの検証および災害復興準備に関する公開研究会
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 初年度である 2017 年度は、小委員会を 2 回、WG を 2 回、50 人規模の公開研究会を 1 回開催し、概ね目標とした成果が得られた。 2. 小委員会公募を行い若手を中心に体制を整えることができた。
委員会活動の問題点・課題	1. 熊本地震からの復興に関する都市計画的検討の場をつくること 2. 関西で活躍するメンバーが多く、小委員会開催を地方開催にできないか

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。